

第19回



時間学カフェ

日時：令和2年6月24日（水）15：00～

開催方法：Zoom

URL <https://zoom.us/j/95223259343?pwd=dWdIbjZtVnpIZjZDL0MzSGpUcXNjUT09>

ID 952 2325 9343

pw 908884

話題提供者

藤澤 健太 先生（時間学研究所 所長・教授）

「時間の多様性の研究と、多様な時間の関係の研究
～時間学を作るためのひとつの提案～」

筆者の専門分野である天文学を一言でいえば、宇宙に存在する天体と天体現象を物理的に理解しようとする学問、ということになる。では時間学を一言で言い表すとどうなるだろうか。

これまで時間学研究所および日本時間学会を中心として行われてきた様々な研究について、「時間学」という言葉を参照しつつ、通底するものは何かと考えるとそれは「時間に多様な側面があること」を明らかにする努力と言える。例えば『時間学概論』では物理学から社会学まで、9通りの時間の姿が説明されていると言ってよい。時間は自然、社会、人間のすべてに関わっているから、その関わり方の多様性に応じて時間の姿は大変な多様性を持つ。この時間の多様性の追求が、時間学の重要な部分をなす。

しかし、多様な時間の姿を並べているだけでは、時間「学」という学問の体系は見えてこない。そこで、多様な時間の間の関係は何か、という問いかけを手掛かりとしてみよう。例えばSF文学ではタイムトラベルがしばしば用いられるが、ここに現れる時間と物理的な時間の関係はどのようなものだろうか。それは心理的な時間と関係しているだろうか。社会生活に使われる時間との関係はどうだろうか。このように各分野の時間論の関係を考えることで、逆に各分野の時間の性質が明確になる。

タイムトラベルの他にも、考察の基軸となる時間の重要な特徴はいろいろある。例えば、大河のように流れる時、時間が持つリズム性、時間の認識、始まりと終わりの時間などである。それぞれ時間の特徴について各分野の時間論の関係を考えることで、ばらばらの時間論から時間学へ、一步踏み込めるのではないだろうか。

時間学カフェ

とは。。

ヒトの時間、社会の時間、機械の時間、心の時間・・・

この世の、あらゆることから時間と関係しています。

第19回は

zoom

で開催します。

上記のミーティングID・パスワードで入室して下さい。

どこにどれだけ「多様な時間の姿」があるのか？

研究の話でも、思いつきでも、突拍子のない考えでも、便乗発言大歓迎！

先生、職員、学生、学外の方、どなたでも参加OK

色んな分野の人との交流から新しい発見があるかもしれません♪

お問合せ先

時間学研究所事務局 TEL：083-933-5848 MAIL：sh076@yamaguchi-u.ac.jp